

ふくしまオレンジプラン2021の取組

(第2次福島県認知症施策推進計画)

令和6年3月
福島県高齢福祉課

予防

予防の取組

通いの場

住民同士が気軽に集い、さまざまな活動を通して、生きがいや仲間づくりの輪を広げ、社会参加に繋げる介護予防の拠点。

※「予防」とは、認知症にならないという意味ではなく、認知症になるのを遅らせる・進行を緩やかにするという意味



認知機能の低下

早期診断・早期対応の取組

認知症コールセンター

家族等からの介護の悩みなど、認知症全般に関する電話・面接相談を受け付けている。

認知症地域支援推進員

市町村や地域包括支援センターに配置し、相談対応や地域支援体制づくりを行う。(保健師・社会福祉士・ケアマネ・看護師等)

認知症初期集中支援チーム

市町村が地域包括支援センター等に設置し、複数の専門職が個別の訪問支援(受診勧奨・家族支援等)により初期支援(概ね半年)を行うチーム。



かかりつけ医

身近な立場から早期段階での発見、気づきを促し、専門医療機関への受診につなげる。

R4時点対応力向上研修修了者

かかりつけ医：1,340人、薬剤師：1,275人

相談 ↓ ↑ 助言

認知症サポート医

かかりつけ医への認知症診断等に関する助言や支援を行う。

R4時点養成研修修了者 234人



認知症対応薬局

認知症疾患医療センター

認知症の専門医療機関として、専門的な鑑別診断や定期的なアセスメント、地域連携などを行い、かかりつけ医等を支援。

全圏域に設置(11か所)



若年性認知症支援コーディネーター

若年性認知症の人や家族からの相談窓口、就労継続支援、ネットワークの調整役等を行う。2か所に設置

認知症対応力向上研修

かかりつけ医、歯科医師、看護職員、薬剤師、病院勤務以外の看護師等(診療所や施設職員等)、地域支援関係者へ実施。

認知症サポート医養成研修

研修を通じた人材育成

認知症初期集中支援チーム員研修・
認知症地域支援推進員研修への派遣

認知症

地域での生活を支える取組

認知症サポーター・ キャラバンメイト

認知症サポーターは、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として市町村が養成。キャラバンメイトはサポーター養成講座の講師役であり県が養成。

令和5年12月末時点 238,516人養成



チームオレンジ

市町村がコーディネーターを配置し、認知症の人やその家族の身近なニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ活動。

R4時点 3市村に設置

認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域住民、専門職などが交流や情報共有し、お互いを理解しあう集いの場を普及させるため開催。

R4時点 57市町村に167か所

成年後見制度

市町村が成年後見制度の相談窓口となる中核機関を整備。

R4時点 27市町村に中核機関整備

メンバーに



活用



介護職員への研修

認知症介護に関わる職員等を対象に、経験年数や知識・技術の習熟度に合わせて各種研修を実施。
(認知症介護基礎研修、介護実践者研修、介護実践リーダー研修、指導者養成研修等)